



中村俊定文庫
文庫 18
70





Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or letter. The text is written in dark ink on aged, yellowish paper. The script is dense and somewhat difficult to decipher due to its cursive nature and the fading of the ink. The text is arranged in approximately seven lines, with some words appearing to be in a different script or language, possibly Latin or a similar historical language. The page shows signs of wear, including a large brownish stain in the lower right quadrant and some foxing throughout.

續山并夏教句題

更衣 灌佛 千周子

糸 付葵 山子糸
輪多糸 漆糸 糸

競馬 付足抄 志平書

五月廿 粽 葛蒲酒 茅玉
葛蒲帶 葛蒲湯

葛蒲 切葛蒲 根合葛蒲甲
葛蒲刀 葛蒲

葛蓬 平地 夏夜

五月雨 付梅雨 五月園

水盆 葛土糸 紙園會 付十
四日

庭頭涼 御被 付水盆月能
紅糸



夏月 夕立 薰風

雲峯 夕納涼 月夕納涼 樹陰納涼 水邊納涼

暑 新樹

常盤木為索 餘花 付楊 實

卯花 卯花以波 卯根卯木 夕鞠花

橘 付花箱 橘 赤月躑躅

花栴板 合親花 馬醉木花

山梔花 百日紅 要花

病葉 付黃梅 烏梅 小梅

牡丹 芍藥 杜若

花葛蒲 八 馬蘭草

水蓼花 付藻花 沢泻花

河骨 夏草 付夏草花

薔薇 茨子花 美人草

金銀花 淺波花 百合草

陵宵花 芍藥 付石竹 常夏

夕歎 付靱草 蓮

瓜 紫瓜 葱子

小角豆 早松草 麦

早苗 付田植 荀 付若竹

郭云 付郭云 物中郭云

郭云 郭云一物 郭云稀

水鷄 鶴河 夏鷄

夏鷄 蝙蝠 夏虫 付蛇 蚕 蝇

蚊 付蚊 蚊 蚊 蚊 蟬 付蟬 蟬 蟬

蟬衣 點 塵子

夏衣 付夏衣 織 簞

扇 扇 扇 扇 扇 一物消

麻地酒 雀齧 心太

雜夏



侯山并夏之裝白上

更衣



神衣 神衣 神衣 神衣 神衣

衣 衣 衣 衣 衣

衣 衣 衣 衣 衣

衣 衣 衣 衣 衣

衣 衣 衣 衣 衣

衣 衣 衣 衣 衣

衣 衣 衣 衣 衣

衣 衣 衣 衣 衣

衣 衣 衣 衣 衣

衣 衣 衣 衣 衣

灌佛

小佛ハハの中の中 春九

水家

内うと異や多を以て水家水家 不尤
神いんをけしめ流す水家水家 秀行法華寺
母波路はありなり水家守 康吉
水家の水家ありし勝尾山 同
水家山いふ家とて水家 水負
とる水家いふ家とて水家 同
水家流すをわあま月経斗 同
わあま水家水家の水家山 慶會國領

五士森

惟まらむとて水家 同
憾悔して水家とすも水家 同
山家水家にきくも水家 同
流す水家いふ家とて水家 同

祇園會

生り山とてのいし神社 水家
山家水家にきくも水家 同
山家とて水家にきくも水家 同
年々水家にきくも水家の見 吉氏
月々の水家にきくも水家の見 同
菊水とて水家にきくも水家の見 友静
つのも水家にきくも水家の見 重香
益水とて水家にきくも水家の見 吉氏

系一七

祇園は何の彼山人の山 保友
幕け緒も深まのい祇園会 但安
船津よりや水子とて水子 水負
祇園とて水子の水子 正儀

舟行やくらふらふ紙園を 風影

十四日

山くわくさくさく紙園を 山崎樂恒氏 上琴

船山も魚木にのりり松林枝 友輔

座頭源

異を自初座頭源を 寺列 法宗

貝小々の風座頭源を 江戸 拙口

清少頼付の青能 紀春

十中よりして今日ふを 退歩

お後や世に坊くわくさく 玉桂

おや〜い〜い〜い〜い〜い 松色

蚊の〜い〜園〜い〜い〜い 富之

尺八は意氣如くしつ後川 道之

〜い〜い〜い〜い〜い〜い 春丸

衣と衣と〜い〜い〜い 正永

玉川行生を〜い〜い〜い 立貞

夏月

月窟桂香とわらわら 伊勢守 一笑

夏月おのり〜い〜い〜い 大坂 勝長

夏月い〜い〜い〜い〜い 玄樹

石火うおら〜い〜い〜い 無睡

魚馬に〜い〜い〜い〜い 大坂 三昌

咽〜い〜い〜い〜い〜い 東我

月弓も〜い〜い〜い〜い 橋列安成 入重

〜い〜い〜い〜い〜い 大坂 枯木

昔の〜い〜い〜い〜い〜い 大坂 正彰

目〜い〜い〜い〜い〜い 大坂 忠江

短歌〜い〜い〜い〜い〜い 大坂 とも

管火とまじし結のうけし龍崎 故の
 蛇うらまゝとておぼてゑは佐 仁
 名刺の書し毎うさうの月世の八麻 正次
 月影もつらぬ夏夜のおもひお列生は
 雪は信に絶とて心む鶴月お列生は 変
 夏夜のおおとさう月の匂お列生は 因元
 昔のたう管火とて月の匂下村氏 康吉
 照月と管火とつじ丸火鉢 卜琴
 夏夜のおとさう月の匂お列生は 心計
 月影流音とて心む鶴月お列生は 長次
 三日月のおとさう月の匂お列生は 長次
 蚊うらまゝ月の影お列生は 古玄
 雪うらまゝ月影のおもひお列生は 安住
 有らうとてよみおれ月お列生は 吉重

雪は行も月影のうけしお列生は 四朋
 雪うらまゝ月の影お列生は 貞由
 雪うらまゝ月の影お列生は 言直
 雪うらまゝ月の影お列生は 梅才
 雪うらまゝ月の影お列生は 実次
 雪うらまゝ月の影お列生は 正好
 雪うらまゝ月の影お列生は 志存
 雪うらまゝ月の影お列生は 安次
 雪うらまゝ月の影お列生は 目松
 夕夕
 夕夕 雷雷 道之
 夕夕 田田 夕夕 雷雷 安次
 夕夕 雷雷 夕夕 雷雷 安次
 夕夕 雷雷 夕夕 雷雷 安次
 夕夕 雷雷 夕夕 雷雷 安次

夕立や赤天を此編より山大坂弘勝
 夕立に雲がてり此楓三列若原
 夕立や大氣切なり夕立津西村氏頰可
 夕立の雨はまほ海や舟車津本舟車
 夕立の雲はまほ甲石波春常
 夕立の雨はまほ長移列三田以長
 夕立の雲はまほ舟舟波舟波
 夕立の雨はまほ一文字舟波舟波
 夕立の雲はまほ十人思思
 夕立の雨はまほ舟舟波舟波
 夕立の雲はまほ舟舟波舟波
 夕立の雨はまほ舟舟波舟波
 夕立の雲はまほ舟舟波舟波

蕙風

夕立の雲はまほ舟舟波舟波
 夕立の雨はまほ舟舟波舟波
 夕立の雲はまほ舟舟波舟波
 夕立の雨はまほ舟舟波舟波
 夕立の雲はまほ舟舟波舟波
 夕立の雨はまほ舟舟波舟波
 夕立の雲はまほ舟舟波舟波
 夕立の雨はまほ舟舟波舟波
 夕立の雲はまほ舟舟波舟波
 夕立の雨はまほ舟舟波舟波
 夕立の雲はまほ舟舟波舟波
 夕立の雨はまほ舟舟波舟波

雲岑

夕立の雲はまほ舟舟波舟波
 夕立の雨はまほ舟舟波舟波
 夕立の雲はまほ舟舟波舟波
 夕立の雨はまほ舟舟波舟波
 夕立の雲はまほ舟舟波舟波
 夕立の雨はまほ舟舟波舟波
 夕立の雲はまほ舟舟波舟波
 夕立の雨はまほ舟舟波舟波
 夕立の雲はまほ舟舟波舟波
 夕立の雨はまほ舟舟波舟波
 夕立の雲はまほ舟舟波舟波
 夕立の雨はまほ舟舟波舟波

納涼

夕立の雲はまほ舟舟波舟波
 夕立の雨はまほ舟舟波舟波
 夕立の雲はまほ舟舟波舟波
 夕立の雨はまほ舟舟波舟波
 夕立の雲はまほ舟舟波舟波
 夕立の雨はまほ舟舟波舟波
 夕立の雲はまほ舟舟波舟波
 夕立の雨はまほ舟舟波舟波
 夕立の雲はまほ舟舟波舟波
 夕立の雨はまほ舟舟波舟波
 夕立の雲はまほ舟舟波舟波
 夕立の雨はまほ舟舟波舟波

涼に秋や夏月より物中付 年三
涼風より汗の井寒水母皮 香を
涼風をよもりせ夏士の香 巨介

夕納涼

暑であつたころより風が紅刺巻根 正夜
寒風より風もよむ夕涼秋田 吟習
月つ風汗が今より夕涼徳島 生房
風は人よりよむ夕涼わく井 枯木
静夜寂しき夕涼加刺巻根 因元
風をよもりよむ夕涼田氏 季林
夕涼の納涼
あつた日の入るころも静夜丹波野庄 道之
暑よりよもりよむ夕涼丹波野庄 正好

樹陰納涼

涼より一樹陰の樹三田 香を
立すし木陰より風がよ 妙貞

水色納涼

爽哉つる水色涼水者江戸 一六
暑より涼水より樹陰納涼伯耆 林麻
涼水より涼水より樹陰納涼伯耆 玄久
白浪は暑より涼水より樹陰納涼 似雲

さよふあつたころより風がわく井 枯木
人の息は涼水より樹陰納涼京 若立
あつたころより風がよむ夕涼徳島 守昌
涼水より涼水より樹陰納涼上野 一矢
涼水より涼水より樹陰納涼 巻靴
暑より涼水より樹陰納涼 政好

汗の色のまろ木津清也 伊豆 牧田

さひの清は是れ 水 松色

布の清もなる 正音

清もさひ 大坂 友久

暑

水青は 井 常法

さひ 正音

さひ 正音

黒 正音

の 正音

黒 正音

汗 正音

汗 正音

續山井夏之教の中

新樹

野 伊豆 栢尔

新樹 伊豆 栢尔

戸邊

神木 伊豆 栢尔

糸 伊豆 栢尔

柳 伊豆 栢尔

柳 伊豆 栢尔

柳 伊豆 栢尔

柳 伊豆 栢尔

柳 伊豆 栢尔

柳 伊豆 栢尔

柳 伊豆 栢尔

空師の言くら未だ知らず 同

夏草もやまきり花はさりし 替田

夏木草生くさうも目くらま 昔の中津

あふふをさくさく庭は夏木草 秋房

夏こころもや小瓶さりし 丹波橋

夏は皆あつた梅さうし 貞明

まよふまよふと世は世の海 吉成

夏こころ花はら葉はさく 秋田川村

まよふまよふと世は世の海 吉成

あふふをさくさく庭は夏木草 秋房

夏こころもや小瓶さりし 丹波橋

夏は皆あつた梅さうし 貞明

まよふまよふと世は世の海 吉成

ゆけり花もさくさく庭は夏木草 一矢

常盤木草集

松本句当道博下

常盤木草もさくさく世は世の海 徳長

餘花 付梅實

梅もあつたも風もあつた 松色

梅もあつたも風もあつた 友静

梅もあつたも風もあつた 玉桂

梅もあつたも風もあつた 秋房

梅もあつたも風もあつた 貞明

梅もあつたも風もあつた 吉成

秋田川村

梅もあつたも風もあつた 丹波橋

貞明

花不あるを是に此種を攝の三三編後之
花と云ひて言はれり果は種極 但安

卯花

卯花のちも今も白く三編右門 治安

白粉と云ふも卯花の点大夜 男女

卯の花の垣は方々不必珠

とて今も卯花の垣の神代言三編右門 兼重

卯花は心もろくも言ふ卯花 好況

互言ふ卯花も言はれり大夜 正定

一重の帷子言の花卯末大夜 正定

月も言はれり言の花卯末三編 推す

つら言はれり言の花卯末三編 治安

垣と云ふ言の花卯末三編 道之

風の言はれり言の花卯末三編 正定

卯花のちも今も白く三編 元光

葉も今も白く言の花卯末三編 一平

葉も今も白く言の花卯末三編 重吉

葉も今も白く言の花卯末三編 友久

言の花卯末三編 周元

花の言はれり言の花卯末三編 一安

卯花の月も白く言の花卯末三編 利定

月影も枝も白く言の花卯末三編 友静

卯花の言はれり言の花卯末三編

波も今も白く言の花卯末三編 治好

卯花も今も白く言の花卯末三編 同

花の言はれり言の花卯末三編 音龍

若根卯末三編

若根卯末三編 一矢

ちてと向う花根知本に集りて

手鞠花

少く向うに咲く模倣花類 如き年庚 三成

逢いつて少く向う花根知本 江戸上村 友傳

橋付花柳

月夜

お月入花柳の香好くぬ 傳友

袖風香よくや香好く一花 為申

橋や成りりそら作り花 本宮

橋よとや少く向うのさくら 大塚村 星等

風よ花を吹さらりる風花柳 玉桂

うそて酒は清き花柳 風花柳

柳花よくとく口はく小蝶 秋の 一頁

標

華とてさくら同風花 おのり 左様

桂とてさくら おのり 本 風花

花とてさくら おのり 光通

五月躑躅

さ月着と光る源氏 三の 治安

花とてさくら 奥の二本 可著

花柘榴

花陽のやま 仙臺 柘榴 風呂 不及

さくら 如川 柘榴 萱一

実 如川 柘榴 花くら 如貞

合歡花

花不若り小蝶 如貞 如佳

馬酔木花

あや 如貞 柘榴 如貞 定佳

山梅花

易いことかたかたのりか 元津

百日白

百くち百日のり 花家 必負

粟花

杉葉のふたむちを指りかき 杉列と田 正辰

粟花

秋葉に文字行似り粟花 日向宮田 義文

病葉

病葉 本傳のまじりて始て 湖主

青梅

青梅 付黄梅 烏委小梅 月夜に散るる花をぬれ梅 圓鏡

禪ちてみるもあつげ梅は即 の二柱下 一好

池梅は花よりさかへる本立 ひこみ 山石

白のりつて美とてあつて梅 伯列 杏久

花はあつてあつてあつて梅 如行のり 泉武

梅は神さるる奇を初はる 肥長抄 尚白

白のりつてあつてあつて梅 秋田 志光

あつてあつてあつて梅 法列飯田 晴魚

梅は神さるる奇を初はる 福井 祐元

あつてあつてあつて梅 城守 右玄

唐茶の枝

実二の成とてあつて梅 城守 唐吉

牡丹

大花のりつてあつて梅 父 山石

牡丹はあつてあつてあつて梅 母 退安

あつてあつてあつて梅 懐列松尾 色之

あつてあつてあつて梅 尾列松尾 光弘

てふあやもきれ花の舞秋田門村正治

花舞秋田門村いさるも子清伊予の長

也のま伊予いふ母と者り江戶あき落 政好

大由江戶や雲林雲林いふのま林のま 林麻

世のま林のま林いふのま林のま 以臣

あも業

二湾但馬守名田いふあも業種百花種守

あも業大坂守名や二春いふあも業春正

警師名の舞名いふ

あも業と教名あも業名いふあも業名之也

あも業名いふあも業名いふあも業名一六

杜若

杜若名いふあも業名いふあも業名いふあも業名正

杜若名いふあも業名いふあも業名いふあも業名正

杜若名いふあも業名いふあも業名いふあも業名正

杜若名いふあも業名いふあも業名いふあも業名正

杜若名いふあも業名いふあも業名いふあも業名正

杜若名いふあも業名いふあも業名いふあも業名正

杜若名いふあも業名いふあも業名いふあも業名正

杜若名いふあも業名いふあも業名いふあも業名正

杜若名いふあも業名いふあも業名いふあも業名正

杜若名いふあも業名いふあも業名いふあも業名正

杜若名いふあも業名いふあも業名いふあも業名正

杜若名いふあも業名いふあも業名いふあも業名正

杜若名いふあも業名いふあも業名いふあも業名正

杜若名いふあも業名いふあも業名いふあも業名正

杜若名いふあも業名いふあも業名いふあも業名正

杜若名いふあも業名いふあも業名いふあも業名正

水草花 付藤花

尾列

多葉に咲くは花の波花 心計

水子の花も咲きぬらん 音重

多葉のついでに咲くは花 延之

池のほとりには花の波花 一安

波花のついでに咲くは花 重次

沃沼花

肥後

水子のついでに咲くは花 貞貞

河骨

水子のついでに咲くは花 之朝

夜草

付多葉花

橋井

水子のついでに咲くは花 重山

甲子のついでに咲くは花 星彦

水子のついでに咲くは花 友綱

大とくは花のついでに咲くは花 友綱

花のついでに咲くは花 風野

菊のついでに咲くは花 大坂

野のついでに咲くは花 利彦

花壇のついでに咲くは花 正倫

水子のついでに咲くは花 周元

花切のついでに咲くは花 依善

水子のついでに咲くは花 西井

花のついでに咲くは花 行好

水子のついでに咲くは花 廣清

薔薇

付荊

尾列

花のついでに咲くは花 宗芳

水子のついでに咲くは花 宗芳

花子花

梅子糸のり糸のめまのや小娘ゆり

梅子の風あてしとや扇風子二宿菖川 重昌

梅子大坂御寺のり大坂御寺の君大坂御寺 十々

花舟丹波福智山のり丹波福智山のや丹波福智山あ丹波福智山る丹波福智山

梅子改修田のり改修田のり改修田の君改修田 一見

梅子梅列老母のり梅列老母のり梅列老母の君梅列老母 一見

梅子井宿のり井宿のり井宿の君井宿 一見

梅子奥列のり奥列のり奥列の君奥列 一見

梅子落座のり落座のり落座の君落座 一見

梅子道之のり道之のり道之の君道之 一見

梅子水負のり水負のり水負の君水負 一見

梅子定行のり定行のり定行の君定行 一見

梅子奥田のり奥田のり奥田の君奥田 一見

梅子改好のり改好のり改好の君改好 一見

梅子山石のり山石のり山石の君山石 一見

梅子徳懐のり徳懐のり徳懐の君徳懐 一見

梅子友静のり友静のり友静の君友静 一見

梅子如貞のり如貞のり如貞の君如貞 一見

梅子如貞のり如貞のり如貞の君如貞 一見

梅子如貞のり如貞のり如貞の君如貞 一見

梅子如貞のり如貞のり如貞の君如貞 一見

梅子如貞のり如貞のり如貞の君如貞 一見

梅子如貞のり如貞のり如貞の君如貞 一見

梅子如貞のり如貞のり如貞の君如貞 一見

梅子如貞のり如貞のり如貞の君如貞 一見

梅子如貞のり如貞のり如貞の君如貞 一見

梅子如貞のり如貞のり如貞の君如貞 一見

梅子如貞のり如貞のり如貞の君如貞 一見

夕魚小中息不也物白くけ 三行 奈川
瓢箪や浮いけわらる花風流 幸あ中津 安河
瓢箪やわらくくくくくく 尾列ち我 心計

蓮

つら心多も釋く色は蓮花等 三行 治安
空也くく風て花子重の花 幸あ中津 元津
ゆじつも蓮花不ばまら具也 幸あ中津 安村
甚美也雨小き旅の水なり 三行 道之
蓮華流くも心重くく有よ同
蓮花くきくくくくく 三行 定政
甚美池のかりりや君子國 律儀 可常
暑は日やあも温泉の石蓮花 三行 一矢
咲出り慶は流きや 丹波 蓮花國 倫不
すめ池とく廻文

ひけの 但の竹田 自号

瓜

あは清代後ま乃く
あはくく廣葉瓜く 母波 葵瓜 如貞
あはく法瓜く 親信 夏け瓜
圓浮樹とあはく 大飯 友靜
あはく瓜瓜瓜く 幸あ中津 友之
瓜くく 但列下 善行
垣として瓜く 正勝 瓜瓜瓜瓜瓜
涼くくく 正次 瓜瓜瓜瓜瓜
瓜瓜瓜瓜瓜 道之 瓜瓜瓜瓜瓜
焼瓜く 瓜あ 瓜瓜瓜瓜瓜
瓢箪の瓜瓜瓜瓜瓜 栲列三田 瓜瓜瓜瓜瓜
瓜瓜瓜瓜瓜 瓜あ 瓜瓜瓜瓜瓜
瓜瓜瓜瓜瓜 瓜あ 瓜瓜瓜瓜瓜

瓜瓜瓜瓜瓜 瓜瓜瓜瓜瓜 瓜瓜瓜瓜瓜

梵天の風をあらわし香気をも 樹葉

梅風

梅風は向ふは清き向風ら 十

かきつらひ独らうらひ小梅風 去

茄子

枯くくわくく

おしやうらひの風おきき 元

小角豆

蒸けり鬼も十八さけり 先

十八はけりのもち 重

垣さけりも十八さ月 正

子松茸

貝ふさの枝もさけり 風

風あけりも枝も 日

花はねと香けり 水

麦

わくしんとうじん 正

麦林も又付町や 政

早苗 付田桂

うらる見 法

こし女 風

さくら踏田子 道

さけり 松

寄 付

うらる酒 林

竹もや 正

女 利

竹の園 塵

竹の如角とみゆかむいふ所 道之
 結成したんうら子お梅より 徳山并夏
 何うも竹の子たれ布の親 之補
 竹の子とともあつるも吾れ母 母波理理
 竹の子はよ何本じく世事 可常
 風ふるもも感あつて母 徳山并夏
 六月子もやま竹乃林 鳥成

海軍の事

こころをさるる竹のうら 若井
 こころ成子 政識
 太公竹のまゝ 宗富
 竹の子 友久
 了り 奥列三本松
 磨言

徳山并夏之教句下

郭云

おくの中に一巻もや郭云 左列徳松
 ともくはもいゆの郭云 徳松
 子規のあつたり花車 一妙
 郭云 山石
 郭云 心
 郭云 道之
 郭云 治安
 郭云 可隣
 郭云 正好

百八の鳥の書の一々常鳥古去
まの書のまの

本まの鳥のまのは数子視ひこ守昌
本まの鳥のまの中あうに阿鳥 景重
増代まの鳥のまのけし部云 湖春

因懐まの書に

つらく細まの鳥のまの阿鳥伊白松山 宗利

世安まの鳥のまの魚持伊州公鹿の部云 重勝

或人真り

下ス種スのまのまの井比部云 季吟

吉坊森氏のまのまの里へ部云 義雅

阿鳥淀森氏本まのまのけし部麻の山 勝春

鳥のまの本まの鳥徳のまのけし如水

依り西尾守り

本まの油けし部云 色綱

人心耳荒前にぬまけし阿鳥 不屠

門丹波のまのまのあけし部云 常

卯月の書

名まのり清和のまの部云 廣方江戸

雷長春月長春のまのまの目やまの部云 一六

まのまの部長春のまのまの阿鳥 家定

くりあけまのまのまの阿鳥 光正

つらあけまのまのまの海森下 重治

阿鳥加刺金沢中加刺金沢や我加刺金沢のまのまの 吉重

卯月八日

清和丹州山形のまのまの阿鳥 玄玖

あつて結りりまのまの阿鳥越前秋山 方竹

阿鳥大坂のまのまのまのまの 友久

啼て人の為の鳥よ 郭云 安妻

天ふひを血に濁にけり 郭云 常松 井狩

うをあまのひもてし 前宿の鳥 南都

鳥のふもてし 丹波の郭云 秋田野代

山くくく 鳥のふもてし 郭云 安一 丹波

勢をけいあつめ 波よ 郭云 俊峯 尾張

片んがのや 鳥のふもてし 郭云 可常 丹波神池寺

夏の前は 鳥のふもてし 郭云 志信 三河山内

郭云 鳥のふもてし 鳥のふもてし 郭云 全 加州金沢

みよ 鳥のふもてし 鳥のふもてし 郭云 固元 加州金沢

郭云 鳥のふもてし 鳥のふもてし 郭云 正好 丹波佐山

鳥の子をり 鳥のふもてし 郭云 女貞

古勢や 鳥のふもてし 鳥のふもてし 郭云 同

古勢と 鳥のふもてし 鳥のふもてし 郭云 幸以

百千反い 鳥のふもてし 鳥のふもてし 郭云 古重

郭云 鳥のふもてし 鳥のふもてし 郭云 見竹 越前

山焼く 鳥のふもてし 鳥のふもてし 郭云 久和 堀

鳥のふもてし 鳥のふもてし 郭云 自地 堀

吉は 鳥のふもてし 鳥のふもてし 郭云 正菴 江列彦根

雪の鳥のふもてし 鳥のふもてし 郭云 正徳 江戸

鳥見 鳥のふもてし 鳥のふもてし 郭云 正供 豊前中津

神國と 鳥のふもてし 鳥のふもてし 郭云 竜極 紀州日高郡

阿鳥 鳥のふもてし 鳥のふもてし 郭云 但秀 玉桂子

橋に 鳥のふもてし 鳥のふもてし 郭云 不教

鳥のふもてし 鳥のふもてし 郭云 以美 丹波

橋本 鳥のふもてし 鳥のふもてし 郭云 独友 福井

鳥のふもてし 鳥のふもてし 郭云 祐元

安部氏の博士の鳥のふもてし

一三三也... 伊亦

郭云稀

浦風... 一不

浦風... 幽步

夜郭云

秋あつて人... 友静

独寝... 正勝

唱あ... 系

因... 不必味

西中部云

唱... 季吟

村... 冬空

村... 貞利

本... 貞淑

あ... 必

町... 必

二... 勝奥

三... 太

山... 鳥

山... 不必味

山... 一二

名... 郭云

郭... 係

浣... 必

室... 下

た... 治安

橋... 一安

町... 常

そのれ徳名河原の森れ部 丹波福智山 云 吉久
くさひもあそくも雲の部 丹波鴨庄 云 正貞

諫鼓鳥

山田の鳥 大坂 鳥 吉吉
多も色格 山田 鳥 田田

中鶴

只たくら 鳥 鳥 吉静
又珠 鳥 鳥 吉

口く 鳥 鳥 吉
や 鳥 鳥 吉

後 鳥 鳥 吉
素 鳥 鳥 吉

鶴飼

つ 鳥 鳥 吉
勢州四日市

螢 鳥 鳥 吉

月 鳥 鳥 吉

十 鳥 鳥 吉

夏鳥

鳥 鳥 鳥 吉

夏鳥

鳥 鳥 鳥 吉

毛 鳥 鳥 吉

蝙蝠

か 鳥 鳥 吉

夏虫

つ 鳥 鳥 吉

や 鳥 鳥 吉

だ 鳥 鳥 吉

蚊帳

夕も涼寝てもすむ蚊帳の夜静
 人代も蚊帳のすむり寝る可也
 窓風も目も蚊帳の蚊帳の争恒
 帳はらうゆも蚊帳の蚊帳の安昌
 蚊帳の蚊帳の蚊帳の蚊帳の并朗
 蚊帳の蚊帳の蚊帳の蚊帳の来完
 蚊帳の蚊帳の蚊帳の蚊帳の保友
 蚊帳の蚊帳の蚊帳の蚊帳の道之

雲

雲立つは雲龍のひらり花雲 道之
 入およ大むすむりり花雲 不盾
 りえよ大れつて雲花雲 志喜
 雲よ入成又ひらり雲花 信守

雲のり垣並雲のさ首の 一箇
 雲火祀花てくや天河軍 宗重

川の舟雲のさ首の 友静
 雲のり光る雲のさ首の 松睡

雲のり字雲のさ首の 宗重
 雲のりくく屍くく雲の 日向之田

雲のり雲のさ首の 義文
 雲のり雲のさ首の 利廣

雲のり雲のさ首の 吉重
 雲のり雲のさ首の 千之

雲のり雲のさ首の 長
 雲のり雲のさ首の 長

雲のり雲のさ首の 長
 雲のり雲のさ首の 長

雲のり雲のさ首の 長
 雲のり雲のさ首の 長

口血あそもり管いさくく 友静

依 江ノ 音秀

管火 佐列 盛田 正勝

里 盛 正次

石 三平 松

火 大坂 又氏 前下

管 林見

い 可常

つ 色成

敷 如帆

新 寺井氏

管 常後

ふ 常後

管 我般

今 一矢

錫 重

風 正之

ち 好

飛 光

火 正貞

火 竹

夏 可常

秋 光

水 蜂

扇 江

管 如維

管 惟正

色紙言よつろ管や金糸子 友静 抄列 重令

尻より引舞舞の管 大夜 道之

久也と管ふり 此作 尾張 友久

初白と管夫と 母持 之也

と細消る管や火坑 愛如池 丁常 三石

管大お 三石 久次

転白 三石 之也

管大 三石 清長

管大 三石 久寛

管大 三石 氏信

管大 三石 余閑

管大 三石 志平

管大 三石 貞彦

管大 三石 独圃

管大 三石 友久

管大 三石 常俊

管大 三石 友久

管大 三石 如電

管大 三石 可著

管大 三石 次長

管大 三石 如電

管大 三石 仲平

管大 三石 友久

月と大にお村より此書守昌

月と管見風ひきくも也 大坂 利廣

一鏡晴花わりの月の音も 荒笑 秋田 留信

月と酒跡もあはれも管見 尹長

蟬

空蟬のくさしあはれも夏本直 秋原

蟬のくさし色せし舟女も 徒云 秋原

山鳥蟬の対面の面月も 幸維

蟬經

始りて身よりく蟬の位 元雲 津中島 洞

虫や子蟬れ初もや花散位 中村

蟬もやゆゆしく蟬の色 一安

蟬の位も事告けのり夏本蟬 友静

蟬の位も事告けのり夏本蟬 友静

虫や子蟬れ初もや花散位 中村

蟬もやゆゆしく蟬の色 一安

蟬の位も事告けのり夏本蟬 友静

蟬の位も事告けのり夏本蟬 友静

蟬の位も事告けのり夏本蟬 友静

蟬の位も事告けのり夏本蟬 友静

蟬の位も事告けのり夏本蟬 友静

蟬一尋

虫のくさし蟬もくさし蟬の音 成近

わくさし蟬の音やいらは音 政長

蟬れくさし蟬の音やいらは音 賢中

蟬れくさし蟬の音やいらは音 松苞

蟬れくさし蟬の音やいらは音 四明

蟬れくさし蟬の音やいらは音 好元

蝉の音も又〜夜〜一矢

滑稽姑のまもりつる蝉の音 宗田

棟 暮道悔〜

あゝあゝ又〜夕〜の音 古去

蝉の音

夏の夕〜のあゝ蝉の音 古去

つれ〜の音も〜と蝉の音 古去

あゝあゝ蝉の音も〜曲 古去

蝉の音もあゝあゝ曲 古去

蝉の音

あゝあゝなる〜蝉の音 古去

越〜と〜の音も〜夜 古去

羽〜と〜の音も〜夜 古去

あゝあゝ〜の音も〜夜 古去

あゝあゝ〜の音も〜夜 古去

あゝあゝ〜の音も〜夜 古去

あゝあゝ〜の音も〜夜 古去

あゝあゝ〜の音も〜夜 古去

あゝあゝ〜の音も〜夜 古去

あゝあゝ〜の音も〜夜 古去

あゝあゝ〜の音も〜夜 古去

あゝあゝ〜の音も〜夜 古去

あゝあゝ〜の音も〜夜 古去

あゝあゝ〜の音も〜夜 古去

あゝあゝ〜の音も〜夜 古去

あゝあゝ〜の音も〜夜 古去

あゝあゝ〜の音も〜夜 古去

あゝあゝ〜の音も〜夜 古去

あゝ風物やふかぬ杖音を 風物
神の足音は涼風去来す 同
音ももろや白雲小苗大い雪 枯列 古存 伴英
三州其のら書清心草山 大板村田氏 正友
或為其家の書り名りの書 江戸 宗彦
あき月おらのまをいぬ大書 枯列 飯田 守徳
富士山は春も雪きの書れ水 左列 壽吉
管束と二保はらりも春首をぬ 左列 清長
あゝあゝあゝあゝあゝあゝ 龍板 道三
夏は海とらり写すの太鼓 二本松 宗精
春も夏も冬も春も夏も 母波 可著
あゝあゝあゝあゝあゝあゝ 箱辻氏 春
あゝあゝあゝあゝあゝあゝ 〇二六代 貞貞
あゝあゝあゝあゝあゝあゝ

Handwritten text in a cursive script, possibly a list or account. Includes a small geometric diagram consisting of a circle with internal lines forming a star-like pattern.

Handwritten text in a cursive script, continuing the list or account. Includes a small diamond-shaped diagram.

Handwritten text in a cursive script, possibly a signature or a concluding note.

A blank page with a large, irregular brown stain in the center, suggesting water damage or mold. The page shows signs of age and wear.

